

訓練番号	5-07-44-002-02-0075	求職者支援訓練	実践コース(02 IT分野)
------	---------------------	---------	----------------

～3か月以内の早期就職を目指します～

Java・Python プログラミング科 (eラーニングA)

安心して受講していただけるように訓練生それぞれの習得度をチェックし、習得状況の把握に努め、親身に対応します。

基本的なプログラミング言語の仕組みをJava, Pythonなど主要言語で学習、ソフトウェアの改修、設計など実務に活かせる能力を身につけ、システムエンジニア、プログラマーなど開発現場・プロジェクトにおいて活躍する能力を習得できます。

1. 訓練について

訓練期間	令和8年1月8日(木)～ 令和8年7月7日(火)	訓練実施方法	eラーニング及びオンラインによる						
訓練実施機関名	株式会社ソラコムサイテック	訓練実施施設名	株式会社ソラコムサイテック 大分支部						
訓練対象者の条件	【eラーニングコース共通】次のいずれかに該当する方 ①育児・介護中の者 ②居住地域に訓練実施機関がない者 ③在職中の者等、訓練の受講にあたり特に配慮を必要とする者 ※通信による受講に必要な下記の設備やインターネット接続環境等を用意し、実施時に適切な接続ができること。 【本訓練コース向け】 ・インカメラ付きPC(Windows11以上、Mac/Linux不可)とインターネット環境をご用意できる方。 ・パソコンの基本操作(タッチタイピング基礎、Officeソフトの基本操作)ができる方。								
受講料	無 料	自己負担額	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>教科書代</td> <td>14,740円(税込)</td> </tr> <tr> <td>PC・ルーター</td> <td>無償貸与 (※希望者全員に貸与)</td> </tr> <tr> <td>その他自己負担</td> <td>※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者ご自身のご負担となります ※任意受験の受験料は別途自己負担</td> </tr> </table>	教科書代	14,740円(税込)	PC・ルーター	無償貸与 (※希望者全員に貸与)	その他自己負担	※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者ご自身のご負担となります ※任意受験の受験料は別途自己負担
教科書代	14,740円(税込)								
PC・ルーター	無償貸与 (※希望者全員に貸与)								
その他自己負担	※PC・ルーターの貸与を希望されない場合、通信費は受講者ご自身のご負担となります ※任意受験の受験料は別途自己負担								

2. 募集について

募集期間	令和7年11月6日(木)～令和7年12月9日(火)
募集定員	15名 ※応募状況が低調な場合は、訓練の実施を中止することがあります。

3. 応募方法について

①住所を管轄するハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、募集期間内に申し込み手続きをしてください。

②受付された受講申込書を下記実施機関までご提出ください。

【提出先】株式会社ソラコムサイテック大分支部(〒870-0026 大分県大分市金池町2-4-6 九州電力大分ビル別館109)

※選考のご案内をスムーズに行うために、「受講申込書」の欄外に必ずメールアドレスをご記入ください。

※締切日必着で申込書の原本を郵送してください。

※申し込まれた方は、事務局(sct.polycolle@gmail.com)まで『コース番号・氏名』を記入しテストメールをキャリアメール以外で送信してください。

③選考日前日までに「受講に関する誓約書」の提出してください。「受講に関する誓約書」は応募後、学校から配布されます。

※期日までに提出が確認できない場合は選考を受けることができませんのでご注意ください。

4. 選考について

選考日時	令和7年12月12日(金) 選考時間は後日事務局からお知らせします	選考結果通知方法	メール
選考方法	面接・学科・パソコン操作などの実技試験(オンライン(Zoom)で実施)		事務局(sct.polycolle@gmail.com)よりご連絡させていただきます。
選考結果通知日	令和7年12月18日(木)		

5. 職業訓練受講給付金について

公共職業安定所の指示により、求職者支援訓練を受講する場合に、一定の要件を満たせば訓練中の生活支援として、職業訓練受講手当・通所手当が支給されます。

※募集期間終了間際になりますと、ハローワークの受付窓口が大変混雑しますので、お早目の受講申込手続きをお勧め致します。

6. 訓練カリキュラムについて

科 目		科 目 の 内 容		訓練時間	
訓練内容	学 科	就職支援	履歴書・職務経歴書作成指導、ジョブ・カード作成指導、面接指導		6時間
		安全衛生	情報機器作業と安全衛生		2時間
		IT基礎	システム開発の工程		19時間
			自社開発・受託開発・SESの概要		
			課題解決型のマインドと構造的な思考アプローチ		
	実 技	Webデザイン演習	HTMLを用いたWebページの作成		21時間
			CSSを用いたWebページのデザイン		
			JavaScriptを用いたWebページの作成		
		Javaプログラミング基礎	Javaの基本構文を使ったプログラミングの実施		85時間
			Javaのオブジェクト指向を使ったプログラミングの実施		
			Javaの標準APIを使ったプログラミングの実施		
		Javaプログラミング実践	MVCを使ったプログラミングの実施		85時間
			Javaを用いたWebアプリケーションの作成		
			DAOを用いたデータベース連携		
		Pythonプログラミング基礎	基本的な変数とコレクションを使ったプログラミングの実施		85時間
			基本的な条件分岐、繰り返し処理などの制御文を使ったプログラミングの実施		
			Python特有の処理を使ったプログラミングの実施		
		Pythonプログラミング実践	応用的なアルゴリズムのプログラミングの実施		85時間
			応用的なコレクション、制御構文の使い方の実践		
		データベース基礎	データの登録、変更、削除、取得の実施		43時間
テーブルの結合と作成の実施					
トランザクション管理の実施					
ソフトウェア開発演習	ソフトウェアの設計の実践演習		85時間		
	自分で作成した設計書をもとにしたコーディングの実施				
	完成したソフトウェアのテストの実施				
企業実習		☒ 実施しない ☐ 実施する		時間	
職場見学、職場体験、職業人講話		職業人講話	「IT業界で働く人の現場の声」講師:株式会社Sola.com 社員	6時間	
訓練時間合計				522時間	

7. 訓練目標について

- ◆基本的なプログラミング言語の仕組みをJava,Pythonなど主要な言語で学び、ソフトウェアの改修、設計など実務に活かせる能力を身につける。
(ITSSレベル1以上の資格取得をめざします)

【任意受験】Python3エンジニア認定基礎試験、基本情報技術者試験、CompTIA A+, CompTIA Cloud Essentials+, Oracle Certified Java Programmer, Silver SE

8. eラーニングコースについて

- eラーニング受講環境として、下記の条件を満たすパソコンおよびインターネット環境のご準備をお願い致します(PC・ルーターの貸与を希望されない場合)。
 - パソコン: OS: Windows11(Mac/Linux不可) CPU: インテル Core プロセッサ 第7世代以上(Core i5 以上推奨)
 - または AMD Ryzen プロセッサ 第2世代以上(いずれも2コア以上・2.0GHz以上推奨) メモリ: 8GB 以上 ストレージ: 256GB 以上 (SSD推奨)
 - インターネット環境: オンラインによるビデオ通話を支障なく行える速度(目安:上りと下りの双方で実測値が1.5Mbps以上を満たす固定回線・モバイルルーター回線)
- ※上記を満たさない機器での受講参加をご希望の場合は、動作不良や学習進行への影響について、ご自身の責任にてお願いいたします。
- 訓練カリキュラム:1週間程度の期間を要する分量で内容に関連性が認められるものを「ユニット」とし、各「ユニット」受講修了毎に確認テストを実施します。
- ※習得度確認テストにおける正答率が3回連続で8割未満、また未受講の確認テストが4ユニットに達した場合、理由を問わず退校処分となります。
- 1週間に1度、オンラインによる対面指導を行います。(※対面指導及び同時双方向型授業は土日・祝日に実施される場合もございます。)
- 就職支援のキャリアコンサルティングはオンライン形式により実施いたします。

9. 問い合わせ先(受講申込書の郵送・持参先)

【書類の郵送・持参先】
株式会社ソラコムサイテック 大分支部
 〒870-0026
 大分県大分市金池町2-4-6
 九州電力大分ビル別館109
 TEL: 050-3785-3826
 Mail: sct.polycolle@gmail.com

10. その他

このコースはDX推進スキル標準(経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が策定)対応の訓練コースです。